



令和 7 年度を見据えて～学校評価の結果を生かしながら～

校長 海老沼 寛之

新しい年令和 7 年（2025 年）を迎えました。皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。平成から令和に変わった 2019 年から、もう 7 年目に入ったのですね。令和の前は 31 年間続いた平成、そしてその前は 64 年間続いた昭和です。年末に私が帰省していた実家にいる母と話していたのですが、今年はその昭和で考えるとちょうど 100 年目だそうです。昭和から平成、そして令和とこの数年で元号が変わるとともに、世の中全体や生活様式、物等目まぐるしいスピードで変わってきています。現在の小学生が大人になったとき。その未来を考えると、今は当たり前のこと・ものが、当たり前ではなくなっているかもしれません。それだけ現代社会というのは予測困難な時代だと思います。

このような時代に子供たちの大切な基礎形成期を 6 年間も預かる小学校という場所、そこで働く教職員という自分たちの立場を考えると、大きな責任感を感じ、身の引き締まる思いです。本校の教職員はこの重要な職務にやりがいと誇りをもち、チーム一丸となって今年も取り組んでまいります。

さて、11 月下旬から 12 月上旬に行った「学校評価アンケート」への回答への御協力、誠にありがとうございました。現在、学校では**令和 7 年度（令和 7 年 4 月からの 1 年間）の教育課程の編成**の時期に入っています。前述した変化の激しい時代の小学校において、どんな教育をし、どんな資質・能力を子供たちに身に付けさせていくかということをよく考えながら編成していきます。この教育課程を編成する上で、前述した「学校評価アンケート」の結果を生かすことはとても重要です。児童・保護者・地域の皆様からの御回答から、本校の成果や課題が客観的に見えてくるからです。以下、学校評価の結果と考察を掲載します。

○児童と保護者・地域の皆様とで関連を見る質問（網掛けは数値の高い方）

上段：児童への質問 下段：保護者への質問	児童の肯定的な 回答の割合	保護者・地域の 皆様の肯定的な 回答の割合
1 学校は楽しいですか (お子さんは楽しく学校に通っていますか)	90%	93%
2 授業はよく分かりますか (学校は学力や学ぶ意欲を高める授業をしていますか)	94%	93%
3 自分からすすんで読書をしていますか (お子さんは自分からすすんで読書をしていますか)	72%	53%
4 あいさつはすすんでできますか (お子さんは自分からすすんであいさつができますか)	89%	75%
5 自分のことは好きですか (お子さんは自己肯定感が高いですか)	80%	74%
6 学校行事は楽しいですか (授業以外（行事等）で子供たちの頑張りが見えますか)	94%	98%
7 家庭学習の時間 学年×10 分やっていますか (お子さんは家庭学習を学年×10 分やっていますか)	76%	74%
8 運動や遊びなどで体をよく動かしていますか (お子さんは運動や遊びなどで体をよく動かしていますか)	88%	75%

1の考察

「明日も学校に行きたい。」と毎日子供たちが思って、前向きに登校できることが何よりです。数値としては児童も保護者も9割を超えていて高いのですが、1割程度は否定的な回答をしている子、保護者もいるということは肝に銘じなければなりません。そういった子たち一人一人にも寄り添い、学校が楽しくないと感じているその理由を知り、改善していければと思います。

2の考察

子供たちが学校にいる時間の多くの時間が「授業」の時間です。その授業がよく分かるということは、子供たちが学校に来るモチベーションにもつながります。数値として高いので、今後も私たち教員は教材研究を念入りに行い、子供たちの実態を見極め、分かりやすい授業づくりを目指していきます。

3の考察

読書に対する取組は、夏休みの図書室読書機会、秋の読書旬間等を行っています。PTA サークルマザーグループの皆様のお読み聞かせも本当にありがたいです。児童と保護者等の数値が離れているのは、学校で本を読んでいて、家庭では読んでいないという子が多いのかもしれませんが、いずれにしても数値は高くないので、読書をする時間、読書の意義、読書への動機付け等、学校として読書に対する取組を見直し、改善を図っていくきっかけとなります。

4の考察

毎朝、校長が正門に立ってあいさつをしています。子供たちはよくあいさつをしています。代表委員会の児童が毎週水曜日にあいさつ運動をしてくれているのも、確実によい効果となっています。しかし、保護者等から見たら、「すすんであいさつ」という視点ではもっと頑張ってもらいたいということかもしれません。あいさつをすると元気になりますし、笑顔になります。あいさつは人と人とのコミュニケーションの基本です。粘り強く・継続して学校でもあいさつを活発にしていきます。

5の考察

自己肯定感を見る質問です。一人一人に必ずよいところ、得意なところはあります。それを自分自身で自覚すると、もっと自分のことを好きになるかもしれません。そのためには、周りの大人、友達からの称賛が何より大切だと思います。学校では、「今日、輝いていた人」をクラスで帰りの会に発表したり、全校朝会等で特技を披露してもらったり、表彰をしたりしています。子供たちにはもっともっと自信をもってほしいです。ぜひ、御家庭でも、お子さんのよさをたくさん褒めていただき、「自分を好きになる子」が一人でも多くなるとよいですね。

6の考察

今年度は、開一まつり・運動会・かいいちアートの森等の全校での学校行事がありました。その他にも移動教室に代表される各学年での行事もありました。行事は普段の授業とはまたひと味違う体験ができ、力が身に付きます。来年度も充実した学校行事、真に子供たちのためになる行事を企画・立案し、実施していきます。そして、子供たち自身がつくり上げていく部分も大いに入れていくことで、「よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を養う」という学校行事の目標達成にもより近付けると思います。

7の考察

家庭でも学習をする習慣を身に付けることが大切です。そのための一般的な目安が小学校は、学年×10分とよく言われています。復習・予習・読書・自主学习等内容は様々考えられますが、「やらされている」から「自分からやる」という姿勢に導いていく必要があります。そのためにも子供たちにどんな働きかけをしていけばよいか、家庭学習の習慣を身に付けるためにどうしたらよいか、教職員で協議していきます。

8の考察

5月に行った「新体力テスト」の結果を見ると、1年女子・5年男子・6年女子以外は、体力テストの合計値が、東京都の平均を超えました。学校では金曜日の朝遊び、中休み・昼休み、体育の授業、もりもりウィーク等、運動や遊びをする時間をとっています。子供たちの数値が9割に迫っているのは、そういう時間に遊び、運動をしているという意識が高いからでしょう。運動や体を動かす遊びをすると、体力が付きやすくなり、健康な身体づくりにもつながりますし、共に活動する仲間がいれば仲間とのコミュニケーションもできます。こういったことを子供たちに更に意識させ、「運動の日常化」(学校以外でも)を図っていきたいです。

○児童単独の質問

質問	肯定的な回答の割合
1 学習用タブレット端末を活用していますか	85%
2 自分はみんなのために役に立っていますか	75%

1の考察

学習用タブレット端末は、今の6年生が3年生になったときから導入されました。4年生以下は、入学したときから、タブレットが当たり前にある学校生活です。ただし使用と活用は別物ですし、学習形態・内容によって効果的に活用できることが大事です。これからの情報社会、このようなタブレットを使いこなしていく能力が更に求められると思います。関連内容を学校だより6月号にも掲載してありますので、併せて御覧いただければ幸いです。<https://cms.nerima-tky.ed.jp/weblog/files/110/doc/93892/799233.pdf> タブレットを文房具の一つとして活用できるよう、今後も授業の中でも積極的に取り入れていきます。

2の考察

自己肯定感に加えてもう一つ子供たちに高めてほしいのが「自己有用感」です。学級、学年、あるいは学校全体の中で自分という存在が人から認められ、その集団の中で役に立っているという思いをもつことができれば、更に学校生活が充実し、自信をもてると思います。学級での活動、学校行事等で、一人一人が活躍できる場面を多く設定し、そこで自分の力を発揮し、皆に認められれば、必ず自己有用感は、高まると思います。意図的にそういう場面を多く設定し、「自分はみんなのために役立っている」と一人一人が思えるようにしていきます。

○保護者・地域の皆様の単独の質問

質問	肯定的な回答の割合
1 お子さんが安心して生活を送ることのできる学校ですか	93%
2 学校の情報・状況はよく伝わっていますか	82%

1の考察

毎日、保護者の皆様が送り出してくださり、日中の多くの時間、学校で生活している子供たち。そこが安心できる場所でなければなりません。肯定的な回答が9割を超えていますが、これからはいじめ・差別・からかい等がなく、安心して生活ができる学校づくり、そして緊急時（地震・火災・不審者侵入等）にも落ち着いて行動できるような定期的かつ実践的な避難訓練の実施、全教職員で校舎内外の環境面の安全点検を繰り返すこと等、抜かりなく行っていきます。

2の考察

学校・保護者・地域の皆様とが協力して子供たちを見守り、支えていくことで子供たちのよりよい成長が望めます。そのためにも、学校の情報・状況をオープンにして、保護者・地域の皆様に知っていただきたいです。学校のホームページの定期的な更新に加えて、授業公開や学校行事等を行い、直に子供たちの様子や教職員、学校全体を見ていただくことを続けていきます。また、授業への参加（ゲストティーチャーや学習ボランティア等）も積極的にお誘いしていきます。

その他、今回の、学校評価アンケートには、**自由記述の御意見**も記入いただきました。

実にたくさんの御意見をいただきました。

学習面、生活面、児童の持ち物、家庭学習の在り方、子供の人間関係、環境面、学校行事の在り方、教職員への期待等です。そのいただいた御意見の一つ一つは、私たち教職員が今までの取組を見直し、改善の視点をもつきっかけとなる実に貴重なアドバイスだと認識しております。上記の数値で出てきたアンケート結果とともに、いただいた御意見も併せて、令和7年度の教育課程を編成してまいります。

1月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
			8 始業式 全学年3時間授業	9 全学年4時間授業 給食始 期首短縮終 安全指導 身体計測6年	10 朝遊び 身体計測5年	11
12	13 成人の日	14 身体計測4年	15 身体計測3年	16 身体計測2年	17 たてわり班活動 身体計測1年	18
19	20 全校朝会 書き初め展示始 もりもりウイーク (持久走) 始 委員会話し合い 活動	21	22 全学年4時間授業 (校内研究日) 3年1組は5時間目研究授業	23	24 朝遊び	25
26	27 児童集会 クラブ	28	29	30	31 朝遊び	2/1

※ 避難訓練は予告なしで行います。

生活目標 《心をこめてあいさつをしよう》

生活指導部

「おはようございます。」「明けましておめでとうございます。」1月8日の登校の際、沢山の児童が笑顔で挨拶してくれました。挨拶は人間関係をスタートさせる第一歩です。初めて会った人やその日に初めて顔を合わせた人に対して、目を見て笑顔で挨拶ができれば、相手はきっと安心することでしょう。何気ない行為ですが、挨拶には相手を大切にするという大切な意味が込められているといえます。子供たちは、これからの人生で数えきれないほど沢山の人と出会うはずですが、いつも自分から進んで挨拶ができる人になって、相手の人に安心の気持ちや信頼の気持ちをもたせ、仲間を増やして行ってほしいと願っています。

